

1-5 交通安全の推進

交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、安全な交通環境の整備を進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

交通安全普及啓発活動の推進

- ・ 国道、県道、市道の交通網は整っており良好な環境である。
- ・ 街なかを歩いている際、小中学校はもちろんのこと高校生も交通のマナーがしっかりしていると感じる事が多く、自転車や横断歩道などの交通安全啓発活動がされていることが背景にあるということがわかった。
- ・ 令和元年に大津市で起きた保育園児らが死傷した痛ましい事故（散歩中の保育園児ら16人が右折車と直進車の衝突に巻き込まれ、死傷した事故）から2年経過したところですが、本年6月30日には、八街市において、下校途中の小学生が飲酒運転のトラックにひかれ5人が死傷するという事故が発生してしまいました。
こうした痛ましい交通事故が決して起きることのないよう、国や県、関係機関・団体等と連携し、ハード・ソフト面の施策のさらなる充実・強化を進める必要があると思います。
- ・ 目的の所に「交通安全普及啓発活動を～」とありますが
高校生への自転車指導や横断歩道等における歩行者優先・・・とありますが 近頃は「歩きスマホ」などで他の通行者に迷惑な行為が目立ちます
大人もかなりの方が「歩きスマホ」をしている現実ではありますが <スマホに夢中になり過ぎて周りが見えなくなる、注意散漫になる>などの抑止的な文言は追加しなくてよいでしょうか
- ・ 対面による啓発活動が中心と思われるが、コロナ禍の収束は見通しが不透明のため、現在のコロナ禍（新しい生活様式）を踏まえた取り組みの検討をお願いしたい。
- ・ 市が財政支出している防犯協議会との連携を記載してはどうか。
- ・ 最近も痛ましい交通事故がありましたが、市内の歩道などの整備はまだまだと思いますし、私の家は我孫子高校に近いですが、自転車通学の生徒が危ない運転をしていることも多いです。ぜひとも痛ましい事故が起らないようにと願います。

- ・我孫子高校生の自転車マナーについて、目に余る点がある。学校側も指導はしていると思うが、小学生の下校時と重なる時にヒヤリとした経験があったので、事故が起きる前に対応してほしい。

交通安全施設の整備

- ・反射板や感应式信号も整備されており十分である。

(「交通安全普及啓発活動の推進」と同じ)

- ・目的で「安全な交通環境を作るため～」とありますが
我孫子駅前の「マクドナルド」前の道路がテイクアウト待ちのお客様が路上駐車で待機している（2～3台は常時）これらは警察の巡回もさることながら・・・マクドナルド店へ駐車場を準備するなどの指導は出来ないのでしょうか
営業活動をしているわけですからマクドナルド側へ指導強化すべきかと感じていますが、都内で車で路駐してテイクアウトを待っているようなところは有りません・・・
もっといけないのは反対側に宝くじ売場があり発売日は両側駐車が頻繁に起きています
※目的の主旨が駅前の状況で覆されていて・・・「安全な交通環境を・・・」非常に目的と現実の実態にギャップを感じて います"

- ・危険なバス停留所の確認等を加えていただきたい。
- ・通学路の整備について不明。
- ・ガードレールなどは危険個所が多い。現在新設道路を計画している白山エリアもかなり危険と感じています。
- ・市内の道路は旧来の歩車道が分離されていない狭隘な道が目立ちます。歩道が分離されていてもガードレールもなく危険この上ない。道路管理責任は国、県、市に区分されるが、財政力の弱い市では困難と思われる。また交通渋滞も事故の誘因となるため個別の場所についての検討、対応が望まれる。
- ・車道と歩道が近く、登下校で危険だと感じる箇所が少なくない。財政上の問題もあると思うが、ガードレール設置か何か対策をたてたい。
- ・1 - 5全体として、抜け道に対する対策を盛り込んでほしい。特に区画化整備されている所での抜け道における交通事故に着目してほしい。現実的に事故多発している交差点なども存在しているので、早急に策を講ずるべきと考える。

4-1 企業立地の推進

多様な企業の誘致を進め、雇用機会の拡大を図ります。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備）

- ・資料を拝見すると、産業用地の創出に向けての取り組みが進展していることが読み取れます。産業用地への企業誘致を着実に進めて、我孫子市内での新たな雇用創出を期待します。企業誘致の際には、地元企業に関連性のある企業を誘致するなど、地域経済循環の観点を組み込んでいただけると良いと思います。
- ・企業立地するのに利根川の道と 356 バイパスを片側 2 車線にしていかないと交通が悪い。
- ・柴崎地区の工業系土地利用に向けて、計画的に進めていることが分かりました。我孫子市は都心に近く、交通利便性が高い地域であり、しかも、豊かな自然に恵まれているという両面を兼ね備えているところが強みだと思いますので、そうした強みをしっかりアピールしていただきたいと思います。
- ・HP 等での事業用土地・空きテナント等の情報発信は、未利用物件を活用に結びつけるためのいい取組だと思います。好事例があれば、（社名等は伏せながらでも、）HP 等に掲載することで、利用の促進につながられるのではないかと考えます。（相手方の了解など、検討を要する点があるかとは思いますが。）
- ・「立地奨励金等制度の創設を調査研究・検討し、市特有の制度を創設する」とのことですが、今年度、創設された「オフィス開設等促進補助金制度」も効果的な取組だと思います。（質問：現時点での利用状況はいかがですか？）→ 1 件申請有り（新規開設 3 名雇用）
- ・市内の住工混在解消のための移転補助金等の誘導する施策も必須。
- ・市内金融機関と連携した我孫子市に興味のある企業の情報収集も必須。
- ・ぜひ企業立地を推進し、近場で働ける環境を整備してほしい
我孫子市の立地条件を考えると、製造業のような大規模工場のイメージではなく、情報技術産業のような小規模の研究開発企業が誘致に適しているのではないかと考えます。企業への優遇措置として何が魅力になるかメニューを明示する費用がある。
- ・地元企業を応援する施策が少なく感じる。我孫子で働きたい子育て、共働き家庭の雇用を促進する施策は操業しやすい環境づくりに含まれると思う。

4-2 就労支援の充実

働きたい人が働ける環境づくりを進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

就労支援・雇用環境の充実

・市内企業従業員の福祉向上と関連し、我孫子市の企業に勤める従業員が我孫子市で住居を購入した場合、企業が住宅ローン補助に上乘せ等を行った場合、行政からの支援は不可能か？

・障害者の就労支援について、障害者は孤立してしまうのでどのようなサポートが必要か、企業へのアドバイス・サポートをさらに充実できないか？

・福祉作業所で生産した商品を一定量・額購入したら障害者受け入れと同様の扱いにできるような制度は出来ないか？

・障がい者や高齢者が安心して長く働ける軽作業の授産場を設置すべきではないか。

・出産・育児に伴い退職し、育児が落ち着いてから仕事を再開したいと考えている人はどの程度復職できているのか。また、なにか支援などはしているのか。

・地元企業を応援する施策が少なく感じる。我孫子で働きたい子育て、共働き家庭の雇用を促進する施策は操業しやすい環境づくりに含まれると思う。

4-3 商工業の振興

地域経済を支える中小企業等への支援を行うとともに、起業・創業しやすい環境づくりを進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

地域経済の活性化

・RESAS（地域経済分析システム）をみると、我孫子市の産業付加価値額や従業者数（2016年）は、医療業、娯楽業、社会福祉・介護事業、小売業が上位を占めています。つまり、対個人向けサービス業が中心であり、今後さらに深刻化してくる人口減少の影響を受けやすい産業構造の様に見受けられます。「中小企業」「小規模事業者」という観点からの支援に加えて、サービス業向けの振興策や支援策を検討課題としてはいかがでしょうか。

・我孫子市ふるさと製品の食べ物系のブランドが弱い

TOKIOなどの番組で手賀沼の外来種駆除と外来種を使ったふるさと製品を作ったら、新たなブランドがでるかも。

・冒頭の「我孫子市ふるさと製品」について～事業内容で販路拡大等の普及・PR活動を支援するとありますがどのような形で販路拡大・PRをするのかがある程度見える形で表現されて・・・事業内容と言えるのではないのでしょうか
この内容では基本構想レベルです

例えば「ふるさと製品連絡協議会」が小売店へ常設売り場を設置していただく活動を進める・ふるさと製品が出来るまでの動画を作成し協力店へ積極的に放映するなどの活用を進める等・・・

実施計画でその内容の具体的事例を構想していく

※現在の環境下では「イベント」が出来ない状況ですので それらを踏まえてのタイムリーな計画も必要ではないか

・「我孫子市ふるさと製品」の育成及び普及について、事業者、商工会、我孫子市の3者に、我孫子市にある大学や支援学校等の参加の検討していただきたい。イベント等でのPR活動力になると思う。

・産業まつりはイベントとしては毎年活況だが、産業振興という本来の目的と乖離がないか？検証する時期に来ているのでは？

・我孫子市商店街活性化事業補助金をしっかりと形骸化しないように運用して欲しい

・商工会支援と関連して、商工会・行政・市内金融機関が我孫子市の経済上の課題を情報共有する仕組みは作れないか？

- ・ 今回のコロナ禍で保証協会の無利子・無担保融資の申請の際に痛感しました

- ・ 開業支援等に関連して、現在の事業者向け情報は非常に有効なので、国や県のようなサポート事業を商工会等と連携して紹介できる仕組みをさらに進化させてほしい。

- ・ ふるさと産品はまだまだアピール不足と思う

- ・ 小売業の発展は地域活性化の基礎と言える。特に生鮮食料品店は市民の日常生活と緊密になっており、身近に存在するのがのぞましい。現在大規模なスーパーマーケットやコンビニエンスストアの出店が多くなり、商店街の衰退が目立っている。これらのメリットを統合した新たな小売りシステムを誘導できないものか。

- ・ 我孫子は成田と東京の中間にあり、国際性豊かな文化性を備えた魅力ある商業地として内外の客を呼び込めたらいいのでは。そのためには土地の有効利用と駅周辺の再開発が必要と考える。

- ・ 中小企業振興条例の制定を検討してほしい。

- ・ ふるさと産品のPRについて、ふるさと納税返礼品としての活用をより一層強化する必要があるのではないか

4 - 4 農業の振興

農業の生産性向上と持続的な発展を図るための環境づくりを進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

生産性の向上と付加価値の創出

・我孫子市の農業の持続化の可能性を確保するためには、若者に向けて農業をPRし、就農を支援していくことも重要だと感じます。また、認定農業者の育成支援に加えて、地域を支える小規模な家族経営農業にも光をあて、活性化を図るための施策を検討課題としてはいかがでしょうか。

・我孫子の農業にはコレっといった農産物がない。我孫子と言えはこの農産物を作った方がいいと思う。

・使っていない農地で、大規模のソーラーパネルが増えてきている。規制をかけた方がいいと思う。または、我孫子市がソーラー発電と野菜の栽培のハイブリッド施設を研究していった方がいいと思う。

・ふるさと納税で農産物の活用があると良いのではないか。"

・取組内容が「生産性の向上」と「付加価値の創出」とあります
生産性の向上は農家さんへの支援が大半であり自重努力の内容が多すぎます
行政がどのように「生産性の向上」への支援をするのか明確にしてほしい
また「付加価値の創出」については<我孫子ブランド>をイメージしてしまいます
その開発に対する支援が全く見えません
チャレンジには・万円・・・成功したら・・・万円と助成金も必要かと感じます
現状農家さんの努力で仕上がった産物に対して行政が ○○シールを貼る といったイメージです
今後実施段階では外部プランナーを導入していかないと完成度の高いものは出来ないのではないのでしょうか

・あびこんの活性化のために、あびこんと水の館で開催のイベントを連携させる仕組みが不足していると感じる。

・JBF・うなぎちカップ・エンジョイ手賀沼等で来場者への割引や、金券配布等売り上げ増加につながる工夫が不足していると感じる。

・安定的な消費者重視・市場重視に関連して、SDGsの観点からNO.8「働きがいも経済成長も」の視点、NO.12「つくる責任つかう責任」を打ち出して活性化させる方法もある

のでは？

現在も我孫子農産物取り扱いのお店をPRしているのでSDGsの観点も取り入れてはどうか？

・市内の小中学校では地産地消ということで、我孫子市で作られたお野菜等は食べる前に「我孫子で取れた野菜だよ」と教えてもらっていた。若者というくくりで、小中学生のころから自然と意識はしているので良い取り組みだと思う。

・「我孫子市市民農園整備計画」や「あびこ型都市農業」の中に、東京に近い環境を生かしたパイロット事業として、滞在型農業体験事業の掘り起こしを図る等、工夫が必要ではないか？

・高野山桃山公園等は民間事業者に発想を募れば、廃園となった市民農園の再活用が図れるのではないか？

5 - 6 下水道の整備と普及

衛生的で快適な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的な整備と維持管理を進めます。

■主な取組

下水道の整備と普及

・下水道整備率・接続率の向上は、地域の水環境を守る上で重要な課題だと思います。人口減少の中で、これらの率を向上させるとともに、老朽化した管路を更新していく必要もあり、難しい課題に直面していると資料を拝見して感じました。

2 - 5 生活支援の推進

社会保障制度が理解され、医療や生活保障を必要な人が受けられる体制づくりを進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

社会保障制度の適正な運営

・人口減少と併せて、未婚率の増加や核家族化の影響を受けて、単身世帯（世帯主が一人の世帯）の増加が一般的に指摘されています。我孫子市の現状を踏まえながら、生活困窮状態に陥りやすいと言われている単身世帯に対するきめ細かな支援を行っていくことを期待しています。

・介護保険認定審査結果までに時間を要する。調査後の認定が下りるまでに心身機能が著しく低下していることもある。特定の疾患の場合、一次調査結果次第で地域包括支援センターや居宅介護支援事業所にみなしでサービス導入権限を委任してはどうか。

・滞納となった国民健康保険税を徴収する件の事業として、差し押さえを執行する際、滞納者を一律にするのではなく、年齢・仕事・健康状態・家族構成等も考慮してもらいたい。

・市民生活の安定を確保するためには基礎自治体である市の役割が拡大の一途となっている。国は法定事務・機関委任事務を拡大し、財源の補償が十分でないまま市の負担を大きくしている。本来給付事務は行政の任意なものであるはずが現在は大きな比重を占めている。

今後、市の財政力に見合った厳しい制度の運営が求められるのは必至ではないか。

生活・福祉に関する総合的な相談・支援の実施

・具体的な課題が念頭にある訳ではないが「分野にとらわれない相談支援体制」と「断らない相談支援」を着実に実施してほしい。

・生活していて課題を感じていない。

・我孫子市主催の無料法律相談は現状どの程度か？

母子家庭の養育費等、法律の知識や助言があれば解決できることもあるので、活用できるシステムを構築して欲しい。

弁護士だけでなく、司法書士、行政書士等の活用も必要ではないか？

3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

安心して妊娠・出産・子育てができるよう切れ目ない支援に取り組みます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

子育てしやすい環境づくり

・少子化や人口減少をテーマとする授業の際に、我孫子市さんを始め地方自治体が行う「結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援」を授業で紹介すると、大半の学生から「知らなかった」という感想が多く出てきます。また、「気付いた時は遅かった」ということのないように、妊娠・出産等に関する医学的・科学的な知識等について学ぶための「ライフデザイン構築（キャリア教育）」という支援を自治体によっては実施しているという点も「聞いたことがない」という反応が多くあります。（実施計画段階の話になりますが）次代において子育て世代となる、高校生や大学生向けに、市の子育て支援施策やライフデザインなどを知り・学ぶ出前講座などを企画することを課題としてただけるとよいと感じます。

・待機児童0は全国に誇れる取り組みだと思う。

・待機児童ゼロをこれからも続け、若者世代に選ばれるまちになっていくと良いのではないかと思う。

・保育園について、「おおたかの森」の例のように、駅近に通勤前に預ける場所を設け、そこから各方面にある保育園にバスで分散させ、引き取りは各保育園にする。など、近隣の市の取り組みを参考に検討してほしい。

・ファミリーサポートセンターの業務委託期間は3年では短すぎないか？

・ファミリーサポートセンターはあまり活発に活動している印象がないが、提供会員の確保などはきちんと出来ているのか？

・一時預かり事業は評価できていると思っている。

・保育課の子育てコンシェルジュの配置はとてもよいと思う。

我孫子市には児童館がないため、児童館にかわる支援をもう少し充実出来ると良いと思う。

・待機児童ゼロは素晴らしいと思う。

せっかくある支援を「使わない」のではなく、「知らない」のでは、整備している市としても不本意であり、利用できない親御さんにとってももったいないことだと思う。制度の整備だけでなく、仕組みについての広報も検討した方がいいのではないかと。

- ・ 3-1, 3-2 と総じて感じているが、子育て支援などに関する企業側の努力に対する評価・支援など後押し、応援してくれる施策はないのかと感じる。具体的には、産休や育休を会社の制度としてきちんと整備されていることや、子供が微妙な熱により仕事をやすまなければならないケースも多々あり、その時の当人に対するフォローも企業側に対するフォローもない。コロナ禍においてこれほど休まざるを得ない状況が発生した時に大変なのは個人だけではない事も理解してほしい。

市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供

- ・ 湖北にある〇〇幼稚園は保護者共同のイベントが多くあり、パパママ友達の横の繋がりが出来た。市外出身の私にとって我孫子市に住んでいて本当に良かった。

- ・ 保育事業、学童保育などの施策は優れていると思う。今後は保育園のエリア格差をなくせるよう、各保育園の保育の特製などを積極的に紹介していくと良いのではと思う。

妊娠・出産・子育てへの支援

- ・ 保健センターへのアクセスが大変でした。

- ・ 子育て事業に力を入れており、「子育てしやすいまち」という印象が非常に強い。手厚いサポートをこれからも続けてほしいと思う。

- ・ コロナ禍の現在、子育て世代にどのようなニーズ（不安、情報、支援等）が必要なのか、こちら側が予想するのではなく、生の声を反映させられる方法を検討してほしい。

- ・ あびっこクラブの活動は評価できると思う

子育てへの経済的支援

- ・ ひとり親家庭等への支援には無料法律相談等との連携が不可欠と思うが、どのように連携しているのか？

3 - 2 子どもの成長に応じた発達への支援

子どもとその家族が身近な地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見

子どもの成長に応じた支援

- ・小・中学校におけるいじめの実態が気にかかる。学校現場の教師、家庭の保護者の役割、行政の防止対策の確立が望まれる。

7-1 生涯学習の推進

市民が、地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができる環境づくりを進めます。

■主な取組

生涯学習の機会の提供

- ・ここでの課題ではないが体育館に冷房設備があると助かります。
- ・各種イベントや講座、講演等の中止が相次いでいる現在、新しい生活様式を踏まえた検討も始めてほしい。
- ・映写機貸し出し事業で、著作権に関わらない16ミリフィルムで文化的価値の高い郷土芸能映像などは今のうちにデジタル化を図った方が良いのではないかと？
- ・アビスタのこども向けの事業はとても良いと思うが、コロナ禍もあって、なかなか参加者が集まらなると聞いている。良いことを実施しても、どうやって広報するのかがなかなか難しいと思う。広報だけでは目につきにくいと思うので、SNSや民間への協力を仰ぐなどの施策も必要かもしれない。
- ・学校の余裕教室の開放はとても良い。市内で活動している団体、サークルなどは多いが、なかなか活動場所が確保できずに困っているケースも多く、そういう団体などが気軽に使える施設があると良い。

図書館の充実

- ・我孫子市の郷土資料の情報発信について、所管課の違いを超えて連携して欲しい
- ・白樺文学館・杉村楚人館記念館だけでなく、水の館・鳥の博物館・相島芸術文化村（旧井上邸）等とも連携できる仕組みが必要"
- ・移動図書館の活動はとても良いので、ぜひ車両を整備するなどして、今後も拠点を増やし、継続してほしい。

鳥の博物館の充実

- ・この審議会で現地視察をさせていただいた際に、展示、資料の更新に課題があるとお話をお聞きしました。中央学院大学現代教養学部1年生ゼミのフィールドワークでもよく訪れている施設なので、今後とも魅力ある施設運営を期待しています。
- ・取組が「鳥の博物館の充実」とあります 設備や剥製をリニューアルする事だけが「充実」でしょうか
もっと<デジタル>化していく事が時代にマッチしていると思います
ジャパンボードフェスティバルが計画されていますがコロナ過で開催出来ていませんが現在はかなりの人数でZOOMなども開催できますし その録画をSNSで拡

散することもできます

これらも「充実」の一つではないでしょうか

- ・常設展示を現在に合わせて欲しい
- ・始祖鳥の展示はさすがに、博物館としていかなものか？
- ・生涯学習部と連携した、鳥と水辺に関する郷土資料の展示なども積極的に行って欲しい
- ・鳥の博物館は、日本で唯一の施設ということだが、中に入った時のちょっと暗い感じの印象が気になっている。ウエルカム感がなく、もう少し見せ方に工夫が必要と思う。あくまでも個人の意見ですが
- ・何となくだが、日本で唯一という感じがしない。もう少し外観から盛り上げられらようにしてもいいのではないかと思う。
- ・抽象的な意見になって申し訳ないが、知名度が低いと感じる。取組みや展示内容は誇れるものがあると思うのだが、もう一つ盛り上がり欠けている様な気がする。
- ・事業目的に「来館者を増やす」という項目も必要ではないか、来館者を増やし入館料を博物館基金を創設して常に自力で維持発展できるような財政上の努力目標を加えてはどうか？

7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興

歴史文化財を次世代に継承していくとともに、文化・芸術活動の振興を図ります。

■主な取組

歴史・文化の保存と活用

・この審議会で現地視察をさせていただいた際に、魅力ある歴史・文化施設を案内していただきました。子どもたちの地域学習の場となるだけでなく、観光スポットとしてもポテンシャルを感じました。次世代に残していくための保存とともに、有効な活用策を具体化していく必要があると感じます。

・日本民藝に光を当てたバーナード・リーチへの紹介がもっとあっていいと思う。

・体的には良いと思いますが取組が「保存と活用」にあります 保存にはかなりウエイトが高く 活用がどのように活用していく計画が見えません

市の施設・学校は当然ですがその他はどのように考えているのでしょうか

・我孫子には、重要な歴史的資産（我孫子の大正・昭和文化遗产）があるにも関わらず、我孫子駅ホーム等にも案内板が無い。また、我孫子駅改札出たところにも史跡等の案内板が無い（住民でないとアビシルベまでたどり着けない）。

・白樺派の文人たちを知ってもらうため、「文豪とアルケミスト」のようなブラウザゲーム（2021年11月1日に5周年を迎え、アップデートを行われるそうです）やSNSを利用する等、若い年齢層に関心を持ってもらえるような検討をしてほしい。

・郷土資料館がない以上、現在ある施設（鳥の博物館・水の館展示スペース・杉村楚人館記念館・白樺文学館・旧井上邸）を有効活用して、展示やPRを行って欲しい

・上記と関連して、点と点（施設と施設だけにとどまらず古代の石器時代から現代まで）を線で結べるような方法を検討して欲しい

ITを活用した、デジタルマップの作製することで、ハードに頼らなくても情報発信を行って、我孫子の郷土資源を有効活用出来るのではないか？

・旧井上家住宅は、市の所有となってから目ぼしい活動が行われていない印象を受けている。整備をしている途中なのかもしれないが、多額な税金を投じた施設だと思うので、活用できるように考えて欲しい。

・我孫子の魅力は柏のような商業都市ではなく、文化都市、文化の香りを感じる街であることだと思う。歴史と文化を感じられる施設整備、活動などを考えていきたい
市民、有識者の活用を積極的に図るべき。隠れた有識者を発掘してほしい。

・「我孫子市の文化財を計画的に保存・活用し次世代への継承をはかるため」では目的が弱すぎて市民の理解は得られにくいと思う。

「我孫子市の文化財を計画的に保存・活用しながら、我孫子市の魅力発信や地域活性化につなげることで次世代へ継承をはかる」くらいに活用する方向を強調して欲しい。

文化芸術活動の推進

・目的の3番目「市内在住の～コンサートを開催し」・・・事業内容に「市内各会場において・・・」とありますが「市内各会場」とは常設の場所ですか正式な「ホール」等、現状何か所あるのですか過去において「イベント」で出演したレベルのことも含めているのであれば分けて説明ください
セミプロ～アマチュア含めどのように進めていくのかが実施構想で必要かと思えます

※イメージ「こんなことやっていたなー」で基本施策における取組にするには無理があります

定期的に参加者はどのように選定するのか・・・現段階では必要はありませんが今後の中で必ず出来ない事が出てきます

・年1～2回「我孫子みんなでコンサート」(仮名称)でプロジェクト立ち上げるくらいでないと・・・と感じます

・コロナ禍の中、新しい生活様式に伴う文化芸術活動推進の方法の検討をお願いしたい。

・行政の発想が現実を超えられないようでは構想にたどり着けない。

・コロナと共存しなくてはならない世の中がしばらくは続くので、それも合わせた計画を考えるべき。

・我孫子市が所蔵する文化芸術作品の活用はずっと課題となっているが進んでいないように感じる
ので、具体的な展示方法を基本計画の前半(6年間)で明確にするくらいのスピード感が必要ではないか？

コンサートが開催でき、芸術作品の展示が出来る文化施設(市民会館)の必要性を記述するのは困難かとは思いますが検討して欲しい